

# MAX-610: ソフトウェアアップデート手順

最新版のソフトウェアにアップデートすることで以下の機能が追加となります。




- ・ RFLのケーブル区間が最大20区間登録可能
- ・ RFLのケーブル区間設定値の保存機能
- ・ 画面のスクリーンショット機能(USBメモリ接続時のみ)

<必要な物>

- ・ 最新ソフトウェア&コンフィグ情報&ケーブル帳データが保存されたUSBメモリ  
(データは、SOFTWAREUPDATEフォルダー内に19ファイル存在します。)

<アップデート手順>








※ 本体の電源を完全にOFFにする為、AC接続は外してください。(充電が少ない場合は、注意してください)

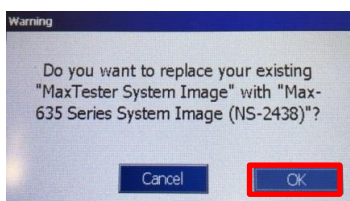
- 1  (電源OFF)
- 2 USBメモリを挿入
- 3  (戻るボタン)を押しながら  (電源ON) → Maintenance Menu画面が表示されます。


```
Reset Watchdog HARP_Init_Envir
HARP Ethernet Bootloader 0.0 for MX51
EVK (
Mar 29 2017 11:53:31)
Platform is NOT on Nail board!
NORMAL_STATE

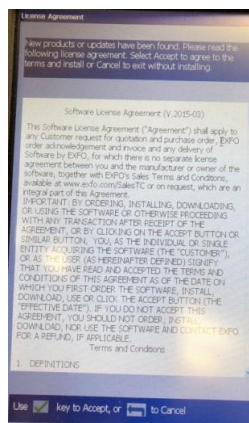
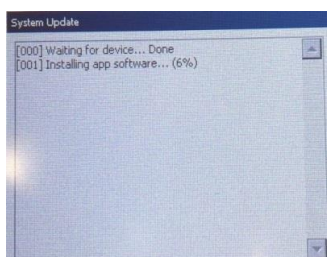
--- Maintenance Menu ---
A) Restore Registry & Launch
>>> B) Format APP&DATA & Launch ←
0) Exit & Launch

Enter your selection: (B)
Confirm(Yes/No)? ←
```

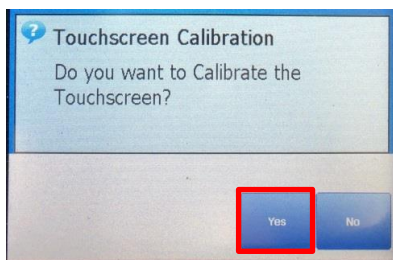
- 4   (上下矢印ボタン)でFormat App&Data & Launchを選択して、 (チェックボタン)
- 5   (上下矢印ボタン)でYesを選択して、 (チェックボタン)
- 6 Warning画面が表示されOKを選択して、 (チェックボタン)



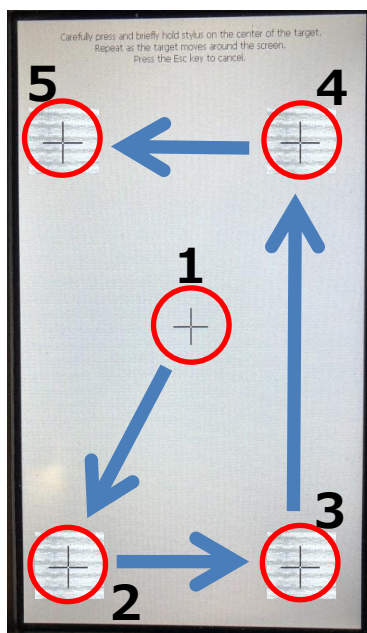
- 7 License Agreement画面が表示され、 (チェックボタン)
- 8 再起動を繰り返しながら自動でアップデート処理が行われます。  
アップデート中の画面は、以下の通り



9 アップデート処理が完了するとタッチスクリーンの校正画面が表示されます。念のためYesを選択して実行します。



10 タッチスクリーンの校正は、+表示の真ん中をタッチペンでタッチします。画面の真ん中と四つ角の5点で校正します。



11 タッチスクリーンの校正完了後、メイン画面が表示されます。

※ USBメモリは接続したままで問題ありません。初期設定時に使用します。

### <アップデート後の各種設定>

アップデート後は、設定値が全て初期化されるため、初期設定を行います。

#### ● 言語設定

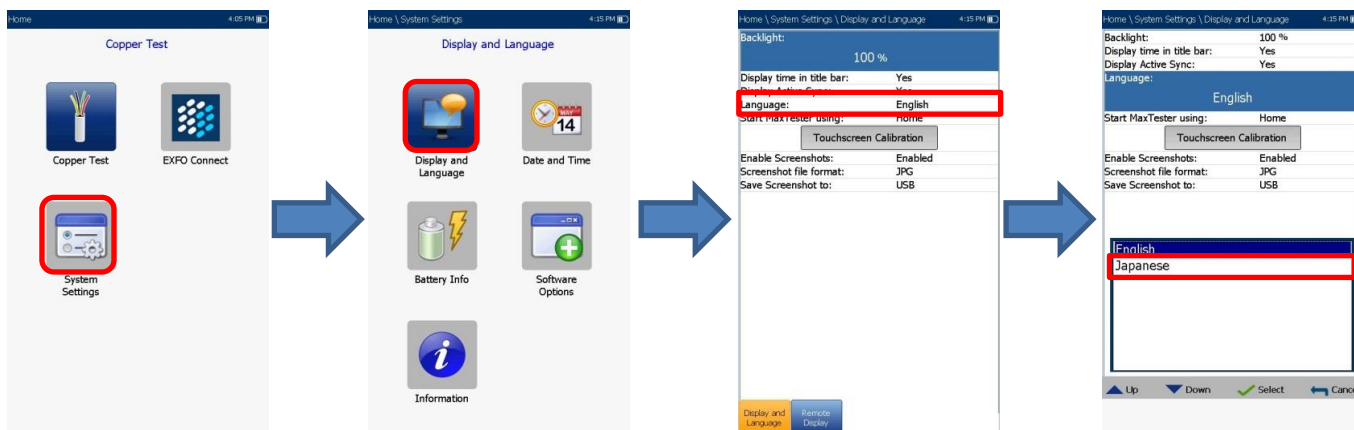
※ 初期化されると言語が英語に戻ります。そのため、日本語に変更します。

1 System Settings → Display and Languageを選択します。

2 Languageの設定をEnglish → Japaneseに変更します。

再起動のメッセージが表示されますのでOK(続行)をクリックして再起動します。

日本語で立ち上がります。



## ● 時刻設定

- 1 システム設定 → 日時を選択します。
- 2 タイムゾーン設定で(GMT+09:00)大阪、札幌、東京を選択します。
- 3 時刻形式を24時間に設定後、日付と時間を現在の日時に設定します。



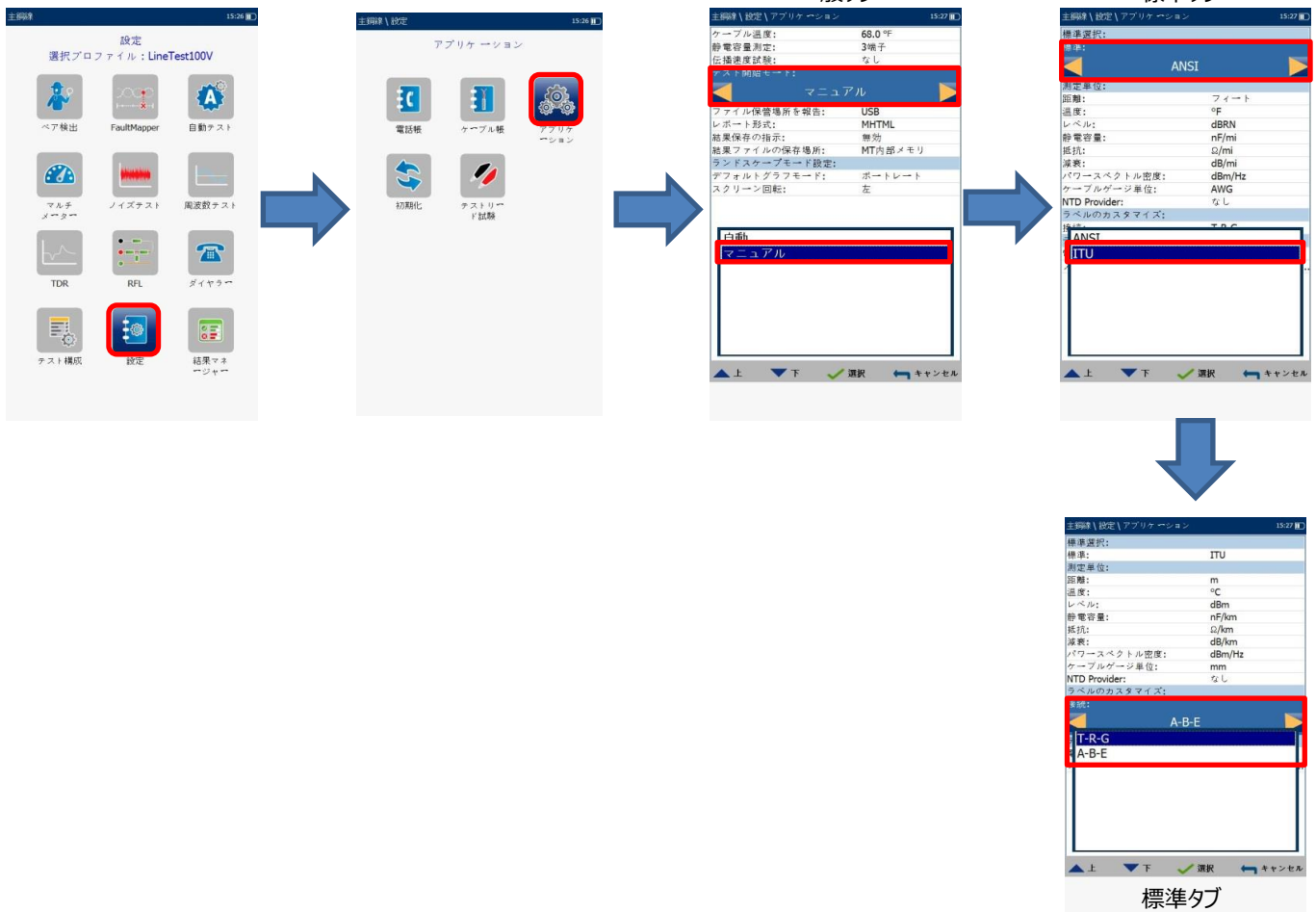
## ● テスト構成

- 1 ケーブルテストを選択します。  
『プロファイルが見つかりません』というメッセージが表示された場合は、**続行**をクリックします。  
その後、画面左上にソフトウェアアップデート中の画面が表示された場合は、完了するまで待ちます。
- 2 **テスト構成** → **USBからコピー**を選択します。
- 3 『プロファイルが存在します・・・』メッセージが表示されたら、**全て保存**を選択します。  
USB内部に保存されているプロファイルデータが本体にコピーされます。
- 4 **プロファイル選択**を選択します。**LineTest100V**を選択します。



## ● アプリケーション

- 1 設定 → アプリケーションを選択します。
- 2 一般タブのテスト開始モードを自動 → マニュアルに変更します。
- 3 標準タブの標準をANSI → ITUに変更します。  
標準タブの接続をA-B-E → T-R-Gに変更します。



● ケーブル帳

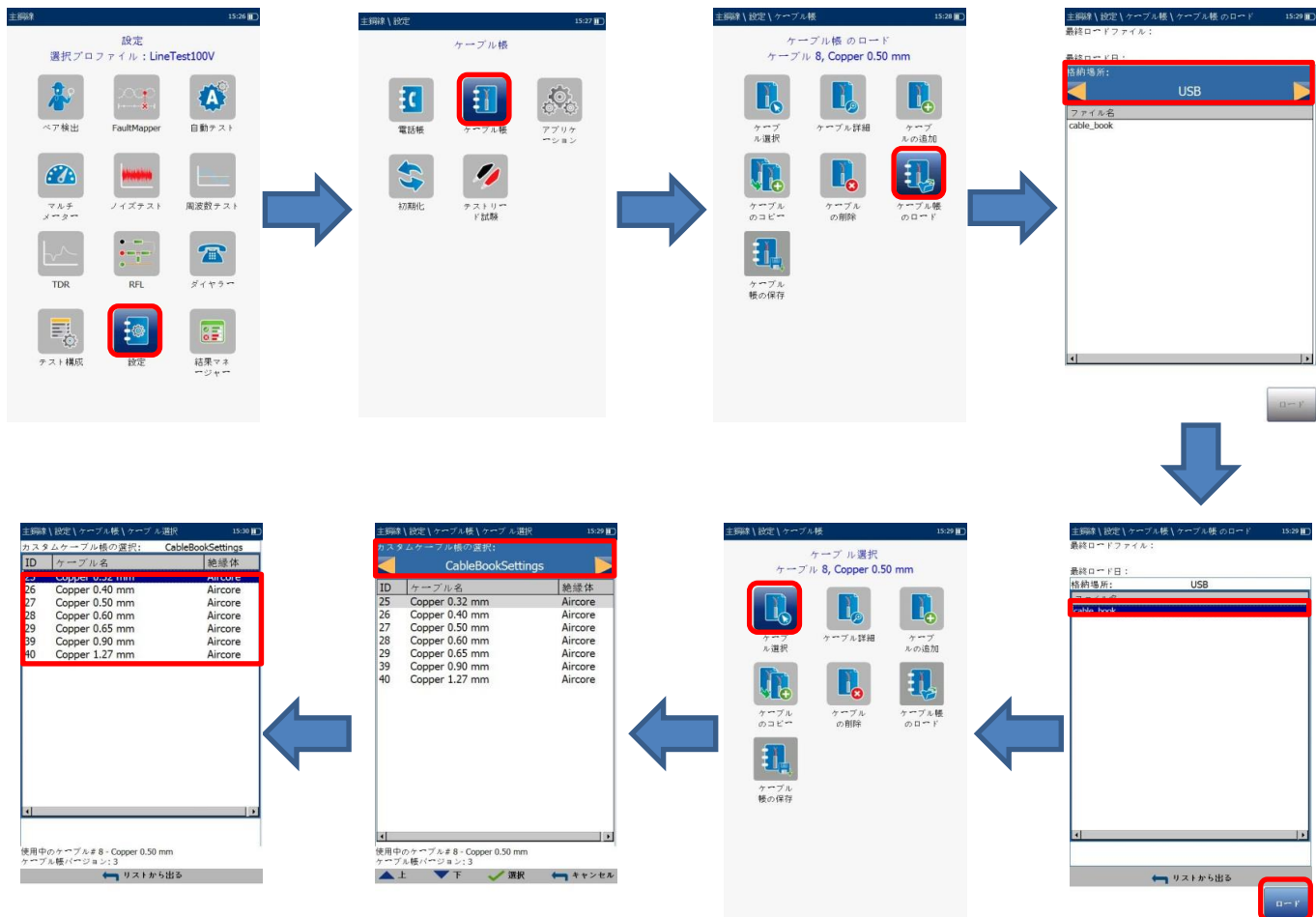
- 1 設定 → ケーブル帳 → ケーブル帳のロードを選択します。
- 2 格納場所：USBでファイル名：cable\_bookを選択してロードをクリックします。  
USB内部に保存されているケーブル帳データが本体にコピーされます。
- 3 ケーブル選択を選択します。
- 4 カスタムケーブル帳の選択：CableBookSettingsを選択し、任意のケーブル名を登録します。

<ケーブル帳データ>

¥MaxTester¥Copper¥Cable\_Book¥xxxxx.xml

<プロファイルデータ(コンフィグデータ)>

¥MaxTester¥Copper¥Profiles¥xxxxx.cqcfg



★ RFLのケーブル設定で20区間登録できることを確認します。

## < バージョン確認 >

システム設定 → 情報 → 情報×2回 でバージョンを確認

- システムイメージ : 3.6.0.4
- MaxTester CQ-DSL (NS-2438) : 1.22.0.4

旧バージョン



製品情報	値
製品名	最大CQ (MAX-610)
モデル	MAX-610
シリアル番号	987977
製品状態	製造

ソフトウェア情報	値
システムイメージ	3.2.0.7
FPGA	6.0.0.0
USBマイクロコントローラ	2.6
アナログマイクロコントローラ	6.9.7.0
Linuxバージョン	N/A
ADSL AnnexA+VDSL2 Phy	N/A
シングルADSL AnnexA+VDSL2 Phy	N/A
シングルADSL annexB+VDSL2 Phy	N/A
EXFO Connect Client CE	5.5.0.14
MaxTester CQ-DSL (NS-2438)	1.18.0.7
MAX-600 Utilities	1.11.0.30

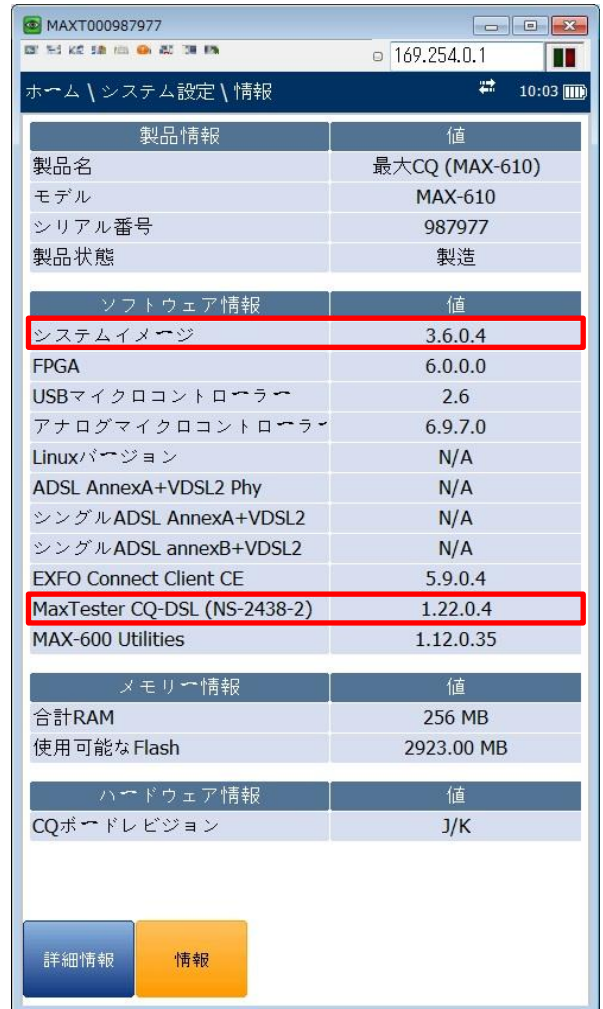
  

メモリー情報	値
合計RAM	256 MB
使用可能なFlash	2923.00 MB

ハードウェア情報	値
CQボードレビジョン	J

新バージョン



製品情報	値
製品名	最大CQ (MAX-610)
モデル	MAX-610
シリアル番号	987977
製品状態	製造

ソフトウェア情報	値
システムイメージ	3.6.0.4
FPGA	6.0.0.0
USBマイクロコントローラ	2.6
アナログマイクロコントローラ	6.9.7.0
Linuxバージョン	N/A
ADSL AnnexA+VDSL2 Phy	N/A
シングルADSL AnnexA+VDSL2	N/A
シングルADSL annexB+VDSL2	N/A
EXFO Connect Client CE	5.9.0.4
MaxTester CQ-DSL (NS-2438-2)	1.22.0.4
MAX-600 Utilities	1.12.0.35

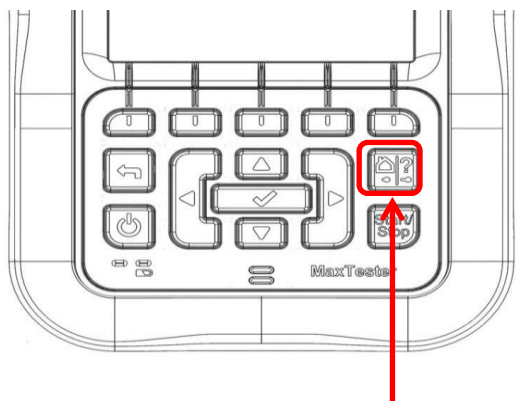
メモリー情報	値
合計RAM	256 MB
使用可能なFlash	2923.00 MB

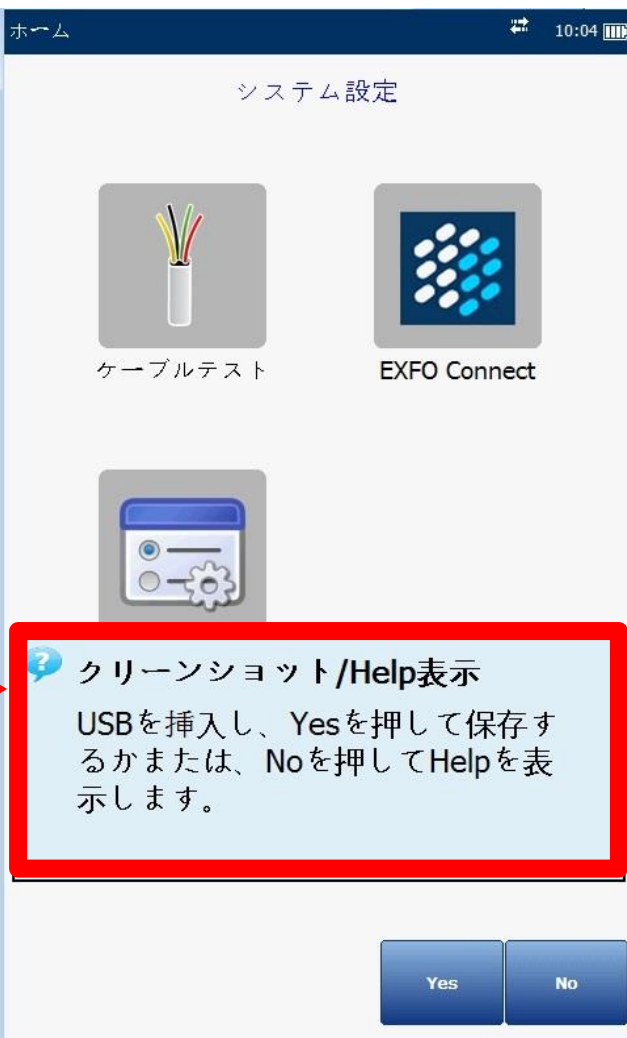
ハードウェア情報	値
CQボードレビジョン	J/K

## < 動作確認 >

スクリーンショットを実行して、文字化けがないか確認します。



ホーム/ヘルプボタンを長押



右記メッセージが文字化けしている場合があります。電源OFF/ON、言語変更などを実行して右画面となるようにします。  
(変更方法がまだ確定してません。)